

## 報告事項 2 令和3年度重点方策及び重点事業

我が国では、少子超高齢社会の人口及び疾病構造の変化等に対応するため、様々な社会保障制度改革が進められ、兵庫県においても、2018年度から「保健医療計画（第7期）」「老人福祉計画（第7期介護保険事業計画）」が施行され、2025年を見据えて、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築・推進の取り組みが進められている。

さらに、団塊ジュニア世代が高齢者となり、様々な社会情勢の大きな変化が見込まれる2040年に向け、一層の制度や体制の整備が求められている。

このような状況を踏まえ、兵庫県看護協会では、令和2年度において、2040年を展望して「兵庫県看護協会活動の今後のあり方」について検討し、その結果を踏まえ重点事業をはじめとする諸事業とともに、組織力の強化の取り組みを推進する。

また、「地域包括ケアにおける看護提供体制構築・推進」を継続的に重点方策の一つとして掲げ、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看-看連携や多職種とのネットワーク事業等を進めてきたが、今後、さらに、地域で安心して暮らせる全世代型地域包括ケアシステムを推進するために、訪問看護への総合的な支援に取り組むとともに、地域の実情に応じて看護の視点で健康に関する地域課題を共有し、切れ目のないケアを提供できるように進めていく。

さらに、令和2年度から継続する新型コロナウイルス感染症対策の強化を図る。

以上により、令和2年度に取り組んできた5つの重点方策を踏襲し、継続的に進めることとし、これまでの進捗状況を踏まえて事業展開していく。

### 【令和3年度重点方策】

- 1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成
- 2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進
- 4 災害等健康危機管理体制の整備
- 5 組織力の強化

## 【令和3年度重点方策・事業】

### 1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成

看護の質向上のため、看護のキャリアに応じた継続教育を基本とする研修を実施。これからの社会に求められる看護の機能・能力開発、役割拡大を支援するため、JNA ラダーの示す看護実践能力の向上につながる人材育成を行う。

また、特定行為研修修了者の役割について普及啓発を行うとともに、本会の認知症認定看護師教育課程に特定行為研修を組み入れた新たな認定教育課程 B 課程を実施する。

#### (1) あらゆる場で働く看護職の看護実践能力の向上

継続教育を着実に推進しつつ、看護管理者対象研修や新人看護職員研修の充実を図るとともに、JNA ラダー活用推進を強化するほか、新たに、外来・在宅・施設等の看護職の資質向上に取り組む。

#### (2) 特定行為にかかる研修制度の推進（新規）

新たに開設する認知症看護認定看護師教育課程 B 課程において人材育成を進めるとともに、特定行為に関わる研修制度の推進を図る。

### 2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

全世代を対象とした地域包括ケアシステムの充実に向け、切れ目のないケア提供体制を構築・推進するため、訪問看護総合支援センターを開設し、訪問看護への総合的な支援に取り組むとともに、産後ケア事業の実態を把握し、母子のための地域包括ケアの推進を強化する。

また、地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムを推進するため、地域の特性に応じて看護職のネットワーク機能を強化する。

さらに、県民の健康づくり支援としての「まちの保健室」の活動がこれからますます重要になるが、今後も継続して活動を展開していくための課題を整理し、あり方について見直しを行う。

#### (1) 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮の推進

訪問看護に関わる様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護人材の確保・訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点として新たに訪問看護総合支援センターを開設するほか、在宅看護連携強化を進める。

#### (2) 地域の特性に応じた看護ネットワーク機能強化

地域の実態を可視化し、その特徴を活かした支部活動（看看連携強化）を推進する。

#### (3) 「まちの保健室」活動の推進

暮らしを支えるまちの保健室活動の推進について検討する。

### 3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進

ヘルシーワークプレイスを周知、活用し、健康で安全な職場づくりを支援する。病院だけでなく、訪問看護ステーション等小規模の事業所に対しても、組織的対応の整備が推進できるよう支援する。

また、多様な職場への就業促進と離職防止のために、ナースセンター事業を強化する。

さらに、豊かな看護の経験を活かして、生涯にわたって活躍できるプラチナナースを支援する。

#### (1) 離職防止、就業促進・定着促進のためのナースセンター事業強化

看護職の需要・離職調査の結果等も踏まえ、潜在看護師等再就業支援や看護職確保定着支援を進める。

(2) プラチナナースの活躍推進

昨年度から取り組んでいるプラチナナースの就労支援を推進する。

(3) 看護職の働き方改革推進

ヘルシーワークプレイスの一層の推進に向け、医療勤務環境改善支援センター等とも連携を図りながら進めるほか、タスクシェア・タスクシフトに関する現状調査を実施する。

(4) 看護職の役割拡大

認定看護師教育課程B課程の開設にあわせ、特定行為研修修了者の活用実践報告会などを実施する。

#### 4 災害等健康危機管理体制の整備

各地で自然災害が頻発しており、いつどこで災害が発生しても対応できるよう体制を整える必要がある。そのため、研修、マニュアル作成等、災害対応力向上の支援を行う。

また、各施設でのBCP、受援マニュアルガイド等を活用して、災害時受援調整機能を発揮する看護管理者を対象とした研修、災害看護の理解を深める研修を行うなど、災害や健康危機発生時の体制整備を図る。

さらに、令和2年度から継続する新型コロナウイルス感染症対策の強化を図る。

(1) 災害等発生時の支援体制の整備

災害発生時の体制強化を図るとともに、災害支援ナース養成をさらに推進する。

(2) 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

災害関係団体等との連携をさらに強化するとともに、対応訓練の充実を図る。

(3) 受援体制の整備

(4) 感染症関連

感染症支援体制の強化を図るとともに、会員施設の支援方策を継続実施するほか、感染管理認定看護師によるサポート体制強化を図る。

#### 5 組織力の強化

2040年を展望する課題への的確な対応を進めていくため、協会活動の基盤となる組織力の強化が不可欠である。中でも、職能団体の基盤となる会員の確保・拡大に向け、できるだけ多くの看護職の結集を図ることが重要である。

(1) 会員の確保・拡大

新入会員の確保、退会の抑止のため、会員サービスの充実・強化とともに、情報発信の強化、広報の充実を図るほか、新たな会員獲得のための方策の検討を進める。

(2) 基盤強化の取組み

支部の活動・体制の強化、経営基盤の安定化を図るほか、広く県民の理解と支援を得るために看護協会の認知度の向上に取り組む。

## 令和3年度事業計画（案）

事業計画は、定款第4条に規定する次の9つの事業に沿って掲載した。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業
5. 災害、健康危機支援に関する事業
6. 看護の国際交流に関する事業
7. 看護の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与に関する事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容の **■** 太文字は重点事業、 **■** 下線は新規事業

### 1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業〈重点1〉 **■** 定款第4条第1項 (64,242千円)

看護基礎教育や継続教育、資格認定教育等を通して看護の質向上や人材育成を推進するとともに、看護研究や学会等学術の振興を図る。

事業内容	具体的計画等
<b>1) 資格認定教育に関する事業 〈重点1〉</b> (1) 認定看護管理者教育課程	10 研修 延べ日数 108 日 延べ定員数 600 名 ファーストレベルⅠ期（週末）定員 60 名 5 月 20 日～6 月 25 日 105 時間 18 日間 ファーストレベルⅡ期 定員 60 名 7 月 13 日～8 月 6 日 105 時間 18 日間 ファーストレベルⅢ期 定員 60 名 11 月 16 日～12 月 10 日 105 時間 18 日間 ファーストレベルⅣ期 定員 60 名 令和 4 年 1 月 12 日～2 月 4 日 105 時間 18 日間 セカンドレベル 定員 60 名 8 月 25 日～10 月 8 日 180 時間 31 日間 ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修 12 月 17 日 ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 2 月 18 日 令和 2 年度 ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 4 月 23 日 ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修 6 月 22 日 ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修 7 月 30 日 看護管理実践報告会 令和 4 年 2 月 25 日
(2) 認知症看護認定看護師教育課程（B 課程） 開講	令和 3 年 4 月 6 日～令和 4 年 3 月 31 日 入講生 20 名 入講説明会 令和 3 年 8 月 1 回 100 名

(3) 資格認定者の資質向上対策のための研修

4 研修 延べ日数 4 日 延べ定員数 240 名  
認知症看護認定看護師フォローアップ研修 1 日 60 名  
認定看護師フォローアップ研修 1 日 60 名  
・災害、減災における認定看護師の役割を考える  
CNS/CN/認定看護管理者実践報告会 1 日 60 名  
特定行為研修修了者の実践報告会 1 日 60 名

## 2) 継続教育に関する事業 <重点 1>

「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い  
看護師の普及に向けた教育

(1) 社会ニーズに対応する能力支援のための研修

30 研修 延べ日数 38 日 延べ定員数 1,800 名  
新新たな国民病「慢性腎臓病 (CKD)」を予防する  
新押さえておきたい!透析看護のポイント  
新再発見!私の職業人生—キャリアストーリー法を通  
して振り返り、見通す—  
新周産期における感染予防対策について—COVID-19 感  
染症を踏まえて  
新「産後ケア事業」における助産師に必要な小児看護の  
知識と技術  
新臨床における看護研究と支援のポイント  
—研究の過程を楽しめることを目指そう—  
・知っておきたい認知症看護・・・5 研修  
・高齢者の暮らしを支えるケア・・・4 研修  
・准看護師のための看護過程と急変対応  
・介護職員等によるたんの吸引等 2 研修 (県受託)  
・新生児蘇生法 (NCPR) S コース  
・院内助産・助産師外来研修

(2) 診療報酬に関連した研修

6 研修 延べ日数 16 日 延べ定員数 360 名  
・看護職員認知症対応力向上研修 2 回開催 (県受託)  
「認知症ケア加算 2」に対応  
・医療安全管理者養成研修・・・日看協主催一部受託  
1 日 2 回開催  
・糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修

(3) 研修会・講演会

5 研修 延べ日数 5 日 延べ定員数 570 名  
・施設代表者等研修会 2 回 (8・3 月)  
・看護実践研究会 (11 月)  
メインテーマ・・・「輝かせよう実践の知 II」  
教育講演: 講師 山本則子 氏 (東京大学大学院医学  
系研究科教授)

ラダーと連動した継続教育

(1) 看護師の臨床ラダー (JNA ラダー)

15 研修 延べ日数 15 日 延べ定員数 900 名  
新楽しく学ぼう循環器!—心不全患者の理解と看護—  
新人工呼吸器の基礎知識と装着中の看護  
新今日から役立つせん妄ケア—高齢入院患者のせん妄  
を防ぐ  
新重症化・急変予測に必要なスキル  
新みんなで学ぼう!糖尿病患者のフットケア

<p>(2) 助産実践能力習熟段階 (CLoC MiP)</p> <p>看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育</p> <p>(1) 看護管理者を対象とした研修</p> <p>(2) これから看護管理を担う人々を対象とした研修</p> <p>専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育</p> <p>(1) JNA ラダー活用のための研修</p> <p>(2) 施設内の教育体制の充実に向けた研修</p> <p>(3) 教員・実習指導者を対象とした研修</p> <p><b>3) 看護研究等学術振興に関する事業</b></p> <p>(1) 令和3年度看護実践研究会の実施・評価(再掲)</p> <p>(2) 日本看護協会主催の学会参加促進</p> <p><b>4) 図書室運営に関する事業</b></p> <p>(1) 図書・雑誌・文献の充実</p> <p>(2) 図書室の効果的・効率的運営</p> <p>(3) 文献学習等の支援</p>	<p><b>新</b>最新!がん化学療法—求められる看護師の役割—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護職員集合研修 4研修</li> </ul> <p>10研修 延べ日数10日 延べ定員数600名</p> <p><b>新</b>助産記録</p> <p><b>新</b>臨床推論</p> <p><b>新</b>周産期に関する倫理</p> <p>9研修 延べ日数11日 延べ定員数720名</p> <p><b>新</b>主任のための役割講座</p> <p><b>新</b>師長のための役割講座</p> <p><b>新</b>論文の書き方 —論理的思考・記述力アップ—</p> <p>6回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修</li> <li>・ファーストレベル公開講座 2研修</li> <li>・セカンドレベル公開講座 2研修</li> </ul> <p>1研修 延べ日数1日 定員数60名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JNAラダーを自分のキャリア開発に活かすために</li> </ul> <p>5研修 延べ日数16日 延べ定員数240名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護職員卒後臨床研修事業</li> </ul> <p><b>新</b>管理者として生涯キャリアを見通しスタッフのキャリア形成を促す—キャリアヒストリー法の活用—</p> <p>2研修 延べ日数40日 定員90名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師助産師看護師実習指導者講習会(県受託)</li> </ul> <p>一般分野 6月27日～8月25日</p> <p>特定分野 11月10日～12月2日(うち8日間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規購入図書、雑誌の検討</li> <li>・新刊案内</li> <li>・Library Newsの発行</li> <li>・図書室の利用者増加に向けた取り組み</li> <li>・会員アンケート調査</li> <li>・利用状況調査</li> </ul>
---	---

## 2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事項

### ＜重点2＞ **定款第4条第2項**

(3,340千円)

現場で働く保健師、助産師、看護師及び准看護師が、自らその課題を把握し改善するため、それぞれの専門にかかわる業務の実態調査・研究等を行い、各職能における業務改善や看護制度改善に向けた提言をすることにより、看護の質向上を図る。

事業内容	具体的計画等
<p><b>1) 保健師業務に関する事業</b></p> <p>(1) 保健師の資質向上、専門性の追求</p> <p>(2) 看護職、多職種とのネットワークの強化</p>	<p>定例会 年 11 回</p> <p>交流会 若手保健師交流研修会 令和 3 年 11 月</p> <p>産業保健分野交流会 令和 3 年 12 月</p> <p>調査等 日本看護協会が実施する実態調査 コロナ禍の保健師活動実態把握</p>
<p><b>2) 助産師業務に関する事業</b></p> <p>(1) 子育て世代包括ケアシステムの推進</p> <p>(2) 助産師間、他職種との連携強化</p>	<p>定例会 年 11 回</p> <p>研修会 近畿地区助産師職能合同研修会 助産師資質向上研修</p> <p>調査等 子育て世代包括ケアシステム推進に向けた産後ケア事業に関する文献検討</p>
<p><b>3) 看護師業務に関する事業</b></p> <p><b>【看護師業務Ⅰ】</b></p> <p>(1) 看護管理者のネットワーク構築</p> <p>(2) 地域包括ケアの現状整理・可視化</p>	<p>定例会 年 11 回</p> <p>交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 「意志決定支援を支えるための切れ目ない看護の展開」 看護管理者のネットワーク構築を図る</p> <p>調査等 地域包括ケアの現状を整理・可視化 日本看護協会が実施する実態調査</p>
<p><b>【看護師業務Ⅱ】</b></p> <p>地域包括ケアシステムの構築にむけた連携・協働の推進</p>	<p>定例会 年 11 回</p> <p>交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 地域で働く看護職の交流会</p> <p>調査等 地域で働く看護師の感染症対策の現状把握、今後の対策検討 看能Ⅱ領域看護師の入会促進 日本看護協会が実施する実態調査</p>
<p><b>※三職能合同</b></p> <p>(1) 保健師助産師看護師職能集會 <u>三職能合同集會</u></p> <p>(2) 保健師助産師看護師・支部合同交流会</p>	<p>令和 3 年 6 月 17 日</p> <p>「バカボンのパパに学ぶ苦悩の人間学 ～大事にしたいコミュニケーション～」 京都大学大学院人間・環境学研究科 佐藤素子氏</p> <p>令和 3 年 9 月 18 日</p> <p>「看護職間の連携・協働のこれから ～地域での暮らしを支えるために～」</p>
<p><b>※支部活動</b></p>	<p>*各支部の計画参照</p>
<p><b>4) 看護制度に関する事業</b></p> <p>(1) 兵庫県看護学校協議会への出席と情報交換</p> <p>(2) 看護業務、看護制度に関する意見・提言収集、調査の実施</p> <p>①令和 2 年度看護職員需要・離職調査の実施と分析</p> <p>②各支部から意見・提言の集約</p>	<p>・4 月 1, 587 施設に郵送</p> <p>・令和 3 年 12 月合同委員会 開催</p>

<p>③各委員会活動から意見・提言の集約</p> <p>④看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会、保健師助産師看護師支部交流会、准看護師交流会からの課題収集、政策提言</p> <p>(3) 看護業務、看護制度に関する国・兵庫県・神戸市・日本看護協会等への政策提言</p> <p>(4) 准看護師養成・准看護師制度に関する取組</p> <p><b>5) 医療安全の推進に関する事業</b></p> <p>(1) 医療事故調査制度における支援団体としての事業</p> <p>①相談への対応</p> <p>②院内調査に必要な専門家の派遣と調査員の人材育成</p> <p>③兵庫県医療事故調査支援委員会との連携</p> <p>(2) 医療安全研修の実施(支部研修は除く)</p> <p>(3) 神戸市医療安全推進協議会への出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年12月合同委員会 開催</li> <li>・令和3年12月理事会報告</li>   <li>・令和3年8月 国・兵庫県・神戸市要望書提出</li> <li>・令和3年10月 兵庫県 知事要望書説明・予算要望 神戸市議会議員 要望書説明・予算要望</li> <li>・准看護師研修会 准看護師の現状把握、進学に関する情報提供</li>   <li>・医療事故調査支援委員会への出席</li> <li>・医療安全管理者養成研修(再掲)</li> <li>・医療対話推進者養成研修(再掲)</li> <li>・医療安全における看護記録(再掲)</li> </ul>
---	---

### 3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

〈重点3〉 **定款第4条第3項**

(58,396千円)

患者や利用者が安心して療養生活を送ることができるよう、全ての看護職が安心して働き続けられる労働環境を整備し、確保・定着促進を図ることで看護職不足を解消し、地域の医療資源の充実を図ることにより、人々の健康及び福祉の増進を図る。

事業内容	具体的計画等
<p><b>1) 働きやすい労働環境づくりに関する事業</b> <b>〈重点3〉</b></p> <p>(1) ヘルシーワークプレイスの推進</p> <p>①看護職の健康と安全に配慮した、労働安全衛生ガイドラインの周知</p> <p>②ヘルシーワークプレイス推進のための企画・運営</p> <p>③関連機関との連携の強化</p> <p>(2) 働き方改革に伴う、労働環境改善の取り組み施設の紹介</p> <p><b>2) 看護職の確保定着の促進に関する事業</b> <b>〈重点3〉</b></p> <p>(1) 看護職の確保の促進に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務環境改善に関する情報提供・周知・浸透</li> <li>・勤務環境改善取組み施設への支援</li> <li>・医療労務管理アドバイザー等と連携しパワーハラスメント等を含む防止策を周知する</li> <li>・ヘルシーワークプレイス推進の現状に関する情報収集、改善方法の検討</li> <li>・ヘルシーワークプレイスを推進する研修会</li> <li>・兵庫県医療勤務環境改善支援センターと連携</li> <li>・行政、ひょうご仕事と生活センターとの連携</li> <li>・年2回 「看護ひょうご」に掲載</li>   <li>・NCCS システムによる求人・求職情報の登録・管</li> </ul>



<p>①求職者および求人側への無料就業斡旋（マッチング業務）</p> <p>②地域における看護師確保の推進</p> <p>③相談機能の充実に関する事業</p> <p>④ナースセンター（支所及びサテライト含む）広報の継続</p> <p>⑤ホームページを用いた広報の継続</p> <p>⑥ハローワークとの連携強化</p> <p>⑦二次保健医療圏域における行政と連携した確保定着対策の強化</p> <p>（2）看護職員離職防止対策研修の実施 看護職員離職防止のための看護管理者研修</p> <p><b>3)看護師等の需要・就業動向の実態把握に関する事業〈重点3〉</b></p> <p>（1）届出者への情報提供</p> <p>（2）プラチナナースの確保及び活用（再掲）</p> <p>（3）<b>新</b>兵庫県保健師バンクの機能強化</p>	<p>理・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラチナナースの活用支援</li> <li>・ナースセンターの運営強化 プラチナナースの確保及び活用</li> <li>・施設訪問 (介護施設・訪問看護ステーション・未登録施設)</li> <li>・<b>新</b>看護管理者支援のための相談機能強化</li> <li>・合同就職説明会</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>看護なんでも相談 延べ 3,000 件</li> <li>メンタルヘルス相談 延べ 60 件</li> <li>認知症・高齢者専門相談 延べ 150 件</li> <li>・「県民だよりひょうご」等行政広報紙による広報強化</li> <li>・山陽電車内広告</li> <li>・特設バナーの設置</li> <li>・SNSの周知とフォロワー獲得</li> <li>・看護相談員による出張相談及びナースセンター連携</li> <li>ハローワーク神戸：第1・3木曜日</li> <li>ハローワーク姫路：第3月曜日</li> <li>ハローワーク西宮：第2木曜日</li> <li>ハローワーク加古川：第4月曜日</li> <li>ハローワーク伊丹：第4水曜日</li> <li>ハローワーク尼崎：第3金曜日</li> <li>ハローワーク明石：第1火曜日</li> <li>・二次保健医療圏域で開催される委員会検討会等への参加年2回</li> <li>・行政との情報交換</li> <li>・看護職員離職防止のための看護管理者研修 令和3年11月26日（金）</li> <li>・制度の普及・啓発、相談対応</li> <li>・就業支援</li> <li>・施設代表者会等での広報活動・離職時登録の推進</li> <li>・プラチナナース支援研修</li> <li>・<u>プラチナナース就業支援のための交流会（支所）</u></li> <li>・<b>新</b>保健師バンク登録の啓発</li> </ul>
--	--

<p>(4) 令和2年度看護職員需要・離職調査の実施 (再掲)</p> <p><b>4)看護職の就業の促進に関する事業〈重点3〉</b></p> <p>(1) 看護職復職支援研修の実施 1日コースの開催(シリーズ化) 1クール 3回</p> <p>(2) 施設で実施する復職支援研修の支援</p> <p>(3) 本所合同就職説明会 就職に関する相談、訪問看護師になるための 相談コーナー等の設置</p> <p>(4) 支部合同就職説明会開催の支援</p> <p>(5) 関連団体主催の就職説明会への参加</p> <p>(6) 看護基礎技術研修およびBLS研修の開催</p> <p>(7) 看護基礎技術(採血)、静脈注射研修 ・姫路支所 ・サテライト北播</p> <p>(8) BLS研修の開催(姫路支所)</p> <p>(9) 看護師確保のための広報活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新</b>登録者の名簿管理</li> <li>・<b>新</b>健康増進課との連携、交流会協力</li> </ul> <p>1日コースの開催回数を増やし、受講者が参加しやすい環境を設定</p> <p>連続5日間コース 年1回 定員30名 1日コース 年9回 定員各15名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会ホームページに掲載し広報</li> <li>・研修企画支援</li> </ul> <p>年2回 9月 延べ100名 2月 延べ80名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における合同就職説明会開催：3支部 阪神南圏域合同就職説明会 延べ100名 北播磨圏域合同就職説明会 ①延べ20名 北播磨圏域合同就職説明会 ②延べ20名 中・西播磨合同就職説明会 延べ100名</li> <li>・ハローワーク・看護福祉就職フェア(随時)</li> <li>・BLS研修 週1回 年延べ47回 延定数235名</li> <li>・看護基礎技術研修 週1回 年延べ47回 延べ定数235名</li> <li>・支所・サテライト 2回/月 年24回 延べ定員288名</li> <li>・BLS研修 月1回 年延べ12回 延べ定数36名</li> <li>・看護専門学校・看護系大学へ出張講義10箇所</li> <li>・高校・中学の進路指導担当者への看護進学に関する情報提供 年1回 20名</li> </ul>
---	--

#### 4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業 〈重点2〉

##### 定款第4条第4項

(379,576千円)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう訪問看護や居宅介護支援事業等を実施するとともに、まちの保健室事業等様々な場で健康相談に応じることにより、県民自ら取り組む健康づくりを支援する。

事業内容	具体的計画等
<p><b>1) 地域看護活動の開発と推進に関する事業</b> <b>〈重点2〉</b></p> <p>(1) まちの保健室事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点、出前相談、講座等の活動の強化</li> <li>・県民のライフサポーターとしての「まちの保健室」拠点の拡充</li> </ul>

(2) 神戸市委託事業

①いきいき健康サポート事業実施の強化

②地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座支援事業

(3) 認知症・高齢者に関する電話相談の継続

(4) 地域包括ケアシステムの推進

①地域別看護職員ネットワークづくり事業 (再掲)

(5) チーム医療推進に関する事業 (重点2)

①多職種参加型支部共同研修の実施

②先駆的な地域連携推進事例報告

③看-看連携研修の実施

④特定行為に係る看護師の研修制度の推進

(6) 看護提供体制の推進 (重点2)

①保健師助産師看護師支部交流会の実施

②地域別看護職員ネットワークづくり事業

③地域包括ケアにおける看護提供体制の構築～JNAの取り組み～

**2) 訪問看護ステーションに関する事業 (重点2)**

(1) 協会立訪問看護ステーションの運営

①尼崎訪問看護ステーション

- ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実
- ・実習及び体験実習等の受け入れ強化
- ・機能強化型訪問看護ステーションとしての役割の推進
- ・尼崎市認知症集中支援チームとして活動
- ・教育ステーションとしての活動

②神戸訪問看護ステーション

- ・訪問看護・居宅支援一体運営によるサービスの充実
- ・実習及び体験実習等の受け入れ強化
- ・リソースを活用した人材育成

- ・理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等関係団体・他職種との協働の強化

- ・看護ボランティアの確保と質向上

- ・研修開催 年1回 定員80名

サポーター研修 (公開講座) 開催

テーマ: ～いつまでも地域で暮らすために～

介護予防に活かす体力測定

講師: 兵庫県理学療法士会

- ・活動拠点の拡充 100カ所

- ・週2回 延件数160件

- ・認知症・高齢者専用相談 (再掲)

- ・地域の現状に応じて支部での企画実施

- ・「看護ひょうご」に連載

- ・病院、訪問看護ステーション、介護施設との看-看連携研修の継続

- ・特定行為に係る研修修了者の実践報告 年1回 定員80名

- ・施設代表者等研修会 年2回 (8月・3月)

- ・看-看連携研修生受け入れ

- ・看護学生、医学部生等の実習生の受け入れ

- ・教育ステーションの役割遂行

- ・地域小規模ステーション看護師・管理者の育成

- ・まちの保健室活動等の実施

- ・認知症初期集中支援チームとしての役割遂行

- ・介護職員への喀痰吸引等の実地研修の受け入れ

- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣

- ・看-看連携研修生受け入れ

- ・看護学生、医学部生等の実習生の受け入れ

- ・地域小規模ステーション看護師・管理者の育成

- ・地域小規模ステーション看護師の育成

- ・看護職員への喀痰吸引等の実地研修の受け入れ

- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣

- ③出石訪問看護ステーション
  - ・訪問看護運営によるサービスの充実
  - ・実習及び体験実習等の受け入れ強化

### 3) 在宅ケアサービスの推進に関する事業 〈重点2〉

#### (1) 新訪問看護総合支援センターの運営 (在宅看護体制機能強化)

##### ①普及啓発

##### ②訪問看護事業所の実態調査

##### ③訪問看護師確保・定着促進

- ・新卒看護職者支援

- ・訪問看護普及・啓発

##### ④訪問看護人材育成

- ・訪問看護管理者研修

- ・実務者研修

##### ⑤相談(開設・経営・労務管理等)

##### ⑥ネットワークを活用/構築

- ・訪問看護推進会議の運営開催

##### ⑦兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会との連携

- ・看-看連携研修生受け入れ
- ・看護学生、医学部生等の実習生の受け入れ
- ・看護職員への喀痰吸引等の実地研修の受け入れ
- ・地域小規模ステーション看護師の育成
- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣

- ・訪問看護総合支援センター設置に関する広報チラシの配布、本会ホームページ掲載
- ・問題解決支援に向け、兵庫しごと生活支援センターとの協働による勤務環境改善のための実態調査
- ・他施設間における新卒看護職交流会
- ・新卒訪問看護師育成プログラム改訂
- ・指導者ガイド作成
- ・就職説明会でのブース開設、新卒看護師募集チラシ配布、大学における就職説明会の参加
- ・看護実践発表会で訪問看護実態調査報告

- ・事業所運営・管理能力向上研修 年3回
  - 管理者 (新任者) 延べ定員 80名
  - (一般) 労務管理 延べ定員 50名
  - (一般) 延べ定員 50名

- ・訪問看護導入研修 年2回 延べ定員 200名
- ・機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー 年1回 延べ定員 50名

- ・訪問看護事業所からの相談

- ・病院からの退院支援に関する相談

- ・訪問看護推進会議 年4回
- ・地域ケア・地域看護推進委員会に参画
- ・看・看連携研修の実施

病院 延べ40施設

ステーション 延べ70施設

施設 延べ5施設

- ・連絡協議会との合同会議開催

- ・連絡協議会事務局を担当

訪問看護事業所実態調査・分析で課題抽出  
新設事業所を対象とした実態調査(9月までに実施)

総会 令和3年7月10日 13:30～

<p>⑧訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策</p> <p>(2) 訪問看護 e-ラーニング受講者への支援</p> <p>(3) 日本訪問看護財団との連携</p> <p>(4) 介護職員等の医療的ケア指導者研修の実施 (重点2)</p>	<p>理事会年4回予定 訪問看護部会 年5回</p> <p>・安全確保のための検討会の開催、研修会実施、相談窓口設置</p> <p>電話相談 月～金 13:00～16:00</p> <p>会議：年3回</p> <p>研修：年2回 延べ定員数300名</p> <p>啓発チラシの配布</p> <p>・令和3年5月22日 開講式</p> <p>・介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会(再掲)</p> <p>・介護職員によるたん吸引等研修事業指導者講習会フォローアップ研修(再掲)</p>
---	---

**5. 災害・健康危機支援に関する事業 <重点4> 定款第4条第5項 (1,330千円)**

災害や健康危機発生時の看護活動支援に備え、平時から県・市町や日本看護協会、関係団体とのネットワークや連携を図り、体制の整備と受援・支援活動を行うことにより、県民の命と健康を守る。

事業内容	具体的計画等
<p><b>1) 災害時看護に関する事業 &lt;重点4&gt;</b></p> <p>(1) 災害・健康危機管理体制基盤の構築</p> <p>①災害・健康危機対策委員会の開催</p> <p>②健康危機体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に係る物品の備蓄と整備</li> <li>・協会内災害防災訓練の実施</li> </ul> <p>③支部での体制整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部における健康危機対策の強化</li> <li>・支部における連携構築の推進</li> </ul> <p>④施設での体制整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続計画(BCP) マニュアルの検討支援</li> </ul> <p>⑤新型インフルエンザ等感染症対策 (体制整備、人材育成等)</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>(2) 災害看護研修、災害支援ナース育成研修等</p>	<p>年6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における連携支援体制の構築、有事に備え体制強化</li> <li>・健康危機関連規程集の見直し</li> <li>・災害支援ナース登録推進・育成研修</li> <li>・地域防災訓練への参加。住民への減災教育、防災力強化</li> <li>・協会内災害訓練の実施</li> <li>・アクションプランの周知確認</li> <li>・支部における災害・健康危機ネットワーク強化</li> </ul> <p>・新型インフルエンザ感染症対応研修 1回</p> <p>感染拡大状況に応じた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員・会員施設への支援</li> <li>・県・神戸市からの要請への対応</li> <li>・看護職員の確保</li> <li>・研修等の実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害医療と看護(基礎編)</li> <li>・災害支援ナース登録者ブラッシュアップ研修</li> <li>・災害支援ナースの指導的役割が果たせる人材の育成と訓練等を通じた実践能力の向上</li> <li>・災害看護研修 1回</li> </ul>

<p>(3) 災害支援ナース活動支援</p> <p>(4) まちの保健室等での地域住民への防災・減災教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ナース養成研修（基礎編）2回</li> <li>・災害支援ナース養成研修（実践編）2回</li> <li>・災害支援ナースフォローアップ研修 1回</li> <li>・災害支援ナース企画指導者研修への派遣 2名</li> <li>・JMAT 実践研修への派遣 10名</li> <li>・地域における減災教育教材の活用</li> <li>・防災訓練への派遣</li> <li>・関係各団体等へ災害支援ナースの広報による災害支援ナースの活動拡大</li> <li>・災害支援ナース交流会の開催</li> <li>・災害支援ナース登録システムの活用 災害支援ナース交流会 1回</li> <li>・防災・減災教育グッズの作成（パネル、チラシ等）</li> </ul>
<p><b>2) 健康危機発生時への対応整備に関する事業</b> <b>〈重点4〉</b></p> <p>(1) 日本看護協会との連携</p> <p>(2) 近畿地区看護協会災害支援活動の推進</p> <p>(3) 兵庫県防災協定による活動</p> <p>(4) 市町等の防災訓練、防災会議への参加</p> <p>(5) ひょうご安全の日推進県民会議との連携</p> <p>(6) 新型インフルエンザ等に係る会議への出席</p> <p>(7) 日本災害看護学会等学会との連携</p> <p>(8) 兵庫県医師会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害看護担当者会議への出席</li> <li>・災害支援ナース派遣調整合同訓練</li> <li>・会員施設の参加（連絡体制の確認等）</li> <li>・近畿地区看護協会災害看護担当者会 年1回開催（兵庫県が担当県）</li> <li>・兵庫県防災会議への出席および役割遂行</li> <li>・合同防災訓練に係る会議への出席</li> <li>・合同防災訓練への参加</li> <li>・支部代表の参加</li> <li>・地域での連携体制推進</li> <li>・ひょうご安全の日推進県民会議への参画</li> <li>・ひょうご安全の日 1.17 のつどいへの参画</li> <li>・災害支援ナースの救護所等開設訓練への参加</li> <li>・開催地の支部からの訓練への参加</li> <li>・災害支援ナースの参加</li> <li>・DMAT チームのトリアージ訓練に参加</li> <li>・県民への防災減災の周知</li> <li>・兵庫県新型インフルエンザ等対策有識者会議</li> <li>・神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画有識者会議</li> <li>・神戸市新型インフルエンザ対策協議会</li> <li>・組織会員としての活動継続：第23回年次大会</li> <li>・JMAT の要請により災害支援ナースを派遣</li> <li>・JMAT 実務者研修への派遣</li> </ul>

## 6. 看護の国際交流に関する事業 定款第4条第6項

(160千円)

海外の同職能団体等との交流や国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）神戸センターとの連携を図り、看護の国際交流を推進する。

事業内容	具体的計画等
<b>1) 外国人看護師候補者受け入れに関する事業</b> (1) WHO 神戸センター協力員会委員および幹事として役割遂行  <b>2) 他国看護学会等との連携に関する事業</b>	・WHO 神戸センター協力委員会への出席

## 7. 看護の普及啓発に関する事業 ＜重点5＞

定款第4条第7項

(8,812千円)

「看護の日」記念事業や介護の日の関連事業（看護フェア）を通して、将来看護現場を支える若い世代を含め、広く県民に「看護のこころ」、「ケアのこころ」等看護に対する理解と関心を深め、県民の公衆衛生の向上を図る。

事業内容	具体的計画等
<b>1) 看護教育制度の広報に関する事業</b> (1) 進学説明会の実施 (2) 進学希望者へのパンフレットの送付 (3) 就職フェアにおける進学希望者への相談対応 (4) 高等学校進路指導担当者説明会の実施  <b>2) 看護のこころ普及に関する事業</b> (1) 看護の日週間事業イベントの開催 (2) ふれあい看護体験事業の実施 (3) 看護フェアの開催 (4) 看護の出前授業の強化  <b>関連事業</b> (1) 兵庫県看護大会 (2) 神戸市看護のともしび賞表彰式	・年1回開催 定員 200名 令和3年7月18日・25日  ・令和3年5月15日 ・年1回開催 参加施設100 定員1,800名 ・令和3年11月13日 定員350名 ・中学校、高等学校への出前授業 年20カ所 ・看護専門学校、看護系大学への出張講義 年10カ所〔再掲〕  ・令和3年7月15日（予定） 兵庫県公館 ・（未定）

## 8. 施設の貸与に関する事業 定款第4条第8項

( - 千円)

本会の事業に支障のない範囲で、広く公益的事業を実施する団体等に施設を貸与することにより、地域社会への貢献を図る。

事業内容	具体的計画等
(1) 会館管理協議会 (2) 教育設備・備品の整備 (3) 設備等定期検査 (4) 建物施設の管理運営（警備・清掃・防災） (5) 維持・修繕	

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業 <重点> **定款第4条第9項**

(381,554 千円)

定時総会、理事会、支部活動や関係団体との連携等を通じて協会の円滑な運営を図り、会員にとってさらに魅力のある看護協会を目指し、事業活動の充実と組織の強化を図る。

事業内容	具体的計画等
<p><b>1) 円滑な組織運営 &lt;重点5&gt;</b></p> <p>(1) 組織運営のための諸会議の開催</p> <p>①定時総会</p> <p>②理事会</p> <p>③業務執行理事会</p> <p>④職能委員会 (保健師・助産師・看護師 I・II)</p> <p>⑤委員会</p> <p>⑥理事・委員会合同会議</p> <p>⑦施設代表者会</p> <p>⑧支部会員会</p> <p>(2) 代議員・予備代議員会</p> <p>①代議員・予備代議員会議</p> <p>②支部会員会において代議員・予備代議員選出のための支援</p> <p>(3) 支部との連携、支部間の連携強化</p> <p>①支部担当事務の配置と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部会員会等関連会議への出席</li> <li>・支部運営マニュアルの適宜見直し</li> <li>・電話等による支部活動支援</li> </ul> <p>②支部運営会議、支部会員会、支部委員会への支援</p> <p>③助成金の交付</p> <p>(4) 日本看護協会諸会議への出席</p> <p>①通常総会</p> <p>②理事会</p> <p>③地区別法人会員会</p> <p>④都道府県職能委員長会議</p> <p>⑤全国職能交流会</p> <p>⑥都道府県支部役員等研修会</p> <p>⑦その他会議</p> <p>(5) 関係団体との連携・協働</p> <p>①看護協会</p> <p>日本看護協会、近畿2府4県看護協会、他 都道府県看護協会</p>	<p>・令和3年6月17日 兵庫県看護協会会館</p> <p>・年10回開催予定</p> <p>・年5回開催予定</p> <p>・3職能集会 令和3年6月17日</p> <p>・12委員会</p> <p>・令和3年7月3日、12月4日</p> <p>・令和3年8月6日、令和4年3月3日</p> <p>・令和4年2月</p> <p>令和3年5月29日</p> <p>・令和3年6月9日 千葉県幕張メッセ</p> <p>・年5回</p> <p>・令和3年10月25・26日 和歌山県</p> <p>政策責任者会議、事務担当者会議、会員情報管理担当者会議、教育担当者会議、医療安全推進会議、准看護師制度担当役員会議、日本看護学会運営会議、広報担当者会議、災害担当者会議、訪問看護担当役員会議、ナースセンター事業担当者会議 他</p> <p>・近畿府県看護協会会長会議</p> <p>・近畿府県看護協会人材育成担当者会議</p>



都道府県看護協会

②兵庫県看護学校協議会

③兵庫県助産師会、日本精神科看護協会兵庫県支部

④日本看護連盟、兵庫県看護連盟  
兵庫県看護連盟との役員合同会議

⑤医療・福祉・介護関連団体

・兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県薬剤師会

・兵庫県医療職団体協議会（放射線技師会、臨床検査技師会、栄養士会、臨床工学技士会、理学療法士会、歯科衛生士会、作業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会、介護支援専門員協会）合同研修

・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

・介護・福祉関係団体

⑥行政

・兵庫県、神戸市、西宮市、姫路市、尼崎市、明石市、各市町、兵庫労働局、ハローワーク等

・関西広域連合 ほか

## 2) 組織力の強化 〈重点5〉

(1) 会員の確保・拡大

①会員確保・拡大に向けた総合的な取組み

②新入会員研修の実施

③施設訪問 未加入者への働きかけ

④看護系大学・看護専門学校への出前授業等による働きかけ、入学式・卒業式等への出席および祝電・メッセージ

⑤看護系大学看護政策講義

⑥見学実習等の積極的受け入れ

(2) セカンドキャリア支援

(3) 認知度の向上

(4) 支部の活動・体制の強化

(5) 経営基盤の安定化

・近畿府県看護協会災害担当者会議

・近畿府県看護協会人材確保・定着担当者会議

・近畿地区看護協会事務局長会議

・幹事団体：看護協会

医療職団体合同研修会 令和4年2月（予定）

・新入会員研修

・2年目会員研修

・協会活動の紹介

・協会ガイド

・神戸市看護大学 看護管理学実習

・セカンドキャリアの活用促進

・登録推進と協会事業への参画

・総会、研修会、イベント等への参加への働きかけ

・県民の健康と安全を守るための事業の充実（再掲）

・情報発信・広報の充実

・支部活動の推進

・市町行政との連携の強化

・健全経営の維持

・外部意見の把握・反映

### 3) 広報活動〈重点5〉

- (1) 広報活動の充実に関する事業  
広報委員会による広報活動の推進
- (2) 広報誌等による広報
  
- (3) ホームページの効果的運営
  - ①理事会議事録(要約)の掲載
  - ②看護関連情報および協会の事業活動の更新
  - ③ホームページ上の各支部ページの充実
  - ④県民向け情報の充実
  - ⑤ホームページの活用に関する評価
- (4) マスコミを通じた広報活動
  - ①取材依頼への積極的対応
  - ②協会事業のマスコミへのPR活動
- (5) 社会貢献活動の広報
  - ①関連イベントへの協力
- (6) 「看護の日・看護週間」事業による看護の心の普及促進
  
- (7) 会員募集(新入会・継続入会)に関する広報

### 4) 会員の表彰・福利厚生等

- (1) 叙勲・表彰等候補者の推薦
  
- (2) 兵庫県看護協会会長表彰等の実施
  
- (3) 慶弔見舞、災害見舞
- (4) 看護職賠償責任保険制度加入の推進
- (5) 協会・支部出務に係る保険運用

- ・「看護ひょうご」の発刊  
(年4回発刊:新春・春・夏・秋)
- ・広報誌「看護ひょうご」のホームページ掲載
- ・協会ガイド
- ・県民向け広報誌「ささえ」の発行
- ・「看護師をめざすあなたへ」冊子配布拡大

- ・看護の日・看護週間イベントの広報活動
- ・看護の出前事業の広報活動
- ・ナース川柳“ひょうご”の募集と表彰
- ・ナースシップに関する広報の強化
- ・「看護ひょうご」に入会のご案内を掲載

- ・叙勲・褒章
- ・日本看護協会会長表彰
- ・兵庫県看護功績賞
- ・神戸市看護のともしび賞
- ・名誉会員
- ・兵庫県看護協会会長表彰
- ・兵庫県看護協会会長感謝状
- ・まちの保健室ボランティア表彰 等

## 令和3年度 各委員会活動計画

令和3年度 委員会	
職 能 委 員 会	保健師職能委員会
	助産師職能委員会
	看護師職能Ⅰ委員会
	看護師職能Ⅱ委員会
} 職能集会資料 参照	
委 員 会	選挙管理委員会
	推薦委員会
	教育企画委員会
	看護実践研究会企画委員会
	倫理審査委員会
	医療安全委員会
	ナースセンター運営委員会
	ヘルシーワークプレイス推進委員会
	災害・健康危機対策委員会
	まちの保健室委員会
	地域ケア・地域看護推進委員会
	広報委員会

## 令和3年度 選挙管理委員会 活動計画

<b>■活動目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙を公正に行う。</li> <li>2. 本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を公正に行う。</li> </ol>
<b>■開催予定</b>	6回
<b>■活動事業</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定款、定款細則、選挙管理委員会規則等（以下「定款等」という。）の規定により、令和4年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙を公正に行う。</li> <li>2. 定款等の規定により、令和4年度本会代議員及び予備代議員、令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議の選挙を公正に行う。</li> </ol>

## 令和3年度 推薦委員会 活動計画

<b>■活動目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会の会員代表として相応しい役員、推薦委員、選挙管理委員の候補者の推薦を公平に行う。</li> <li>2. 本会代議員及び予備代議員、日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の推薦を公平に行う。</li> </ol>
<b>■開催予定</b>	6回
<b>■活動事業</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定款、定款細則、役員等の推薦及び推薦委員会規則等（以下「定款等」という。）の規定により、令和4年度改選役員、推薦委員、選挙管理委員候補者を推薦する。</li> <li>2. 定款等の規定により、令和4年度本会代議員及び予備代議員候補者並びに令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者を推薦する。</li> </ol>

## 令和3年度 教育企画委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。</li> <li>2. 教育研修の実施状況を確認し、教育研修計画を評価する。</li> </ol>
<p>■開催予定</p>	<p>5回</p>
<p>■活動事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度に実施した会員対象の研修ニーズ調査の結果を踏まえ、資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研修ニーズ調査結果の分析</li> <li>2) 調査結果に基づいた研修企画の検討</li> </ol> </li> <li>2. 教育研修の実施状況を確認し、教育計画を評価する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教育認定部からの報告により、教育研修の実施状況を把握し、今後の課題を抽出する。</li> </ol> </li> <li>3. コロナ禍における新人教育の現状と課題を抽出し、教育計画に役立てる             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療現場と意見交換し、課題を抽出する機会をもつ。</li> <li>2) コロナ禍での臨床現場(令和3年度の新人看護師教育)や教育現場の現状について情報共有する。</li> </ol> </li> </ol>

## 令和3年度 看護実践研究会企画委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. 県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。</p> <p>2. コロナ禍での看護実践研究会のあり方を企画検討する。</p>
<p>■開催予定</p>	<p>6回</p>
<p>■活動事業</p>	<p>令和3年度看護実践研究会の開催とそれに向けた企画委員会の開催</p> <p>1. 看護実践研究会の概要  開催時期：令和3年11月20日  対象者：県内の看護職者  参加人数：150名(新型コロナウイルス感染症の状況により変更する)  メインテーマ：新たな看護の創造  教育講演：テーマ  「臨床現場での実践をどのように研究につなげるかー実演編ー」  講師 東京大学大学院医学系研究科 教授 山本則子 氏</p> <p>2. 看護実践研究会を企画する(定例会議で下記の事項を検討・決定する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演題および一般参加の募集要項について</li> <li>・演題および一般参加の再募集について</li> <li>・特別企画教育講演の検討(テーマ、講師、内容)</li> <li>・当日のプログラム、運営スケジュール、係員必携</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法を検討する。(感染者数の動向を踏まえ、開催基準等の検討)</li> <li>・集録集の内容、構成について</li> </ul> <p>3. 査読を通して研究および実践報告活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募演題の査読および採否決定</li> <li>査読基準に従って、発表成果が上がるようサポートする。</li> </ul> <p>4. 看護実践研究会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係員必携に沿って運営する。</li> <li>・参加者を対象に看護実践研究会についてアンケート調査を行う。</li> </ul>

## 令和3年度 倫理審査委員会 活動計画

<b>■活動目標</b>	<p>本会会員が所属する機関に倫理審査委員会等がないために、申請がある場合及び本会の事業目的を達成するために各委員会より申請のあった調査研究の倫理審査を行う。</p>												
<b>■開催予定</b>	3回												
<b>■活動事業</b>	<p>申請のあった調査・研究計画書について、兵庫県看護協会倫理審査基準に基づき、審査を行う。具体については、日本看護協会編『看護研究における研究倫理チェックリスト』に従って行う。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度 倫理審査申請の提出日</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">回数</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">調査・研究計画書の提出日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">令和3年 8月 20日</td> <td style="text-align: center;">17:00 必着</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">令和3年 11月 12日</td> <td style="text-align: center;">17:00 必着</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">令和4年 2月 10日</td> <td style="text-align: center;">17:00 必着</td> </tr> </tbody> </table> <p>*委員会開催日は、決定後ホームページに掲載する。</p>	回数	調査・研究計画書の提出日		1	令和3年 8月 20日	17:00 必着	2	令和3年 11月 12日	17:00 必着	3	令和4年 2月 10日	17:00 必着
回数	調査・研究計画書の提出日												
1	令和3年 8月 20日	17:00 必着											
2	令和3年 11月 12日	17:00 必着											
3	令和4年 2月 10日	17:00 必着											

## 令和3年度 医療安全委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. 兵庫県内の医療の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。</p> <p>2. 各支部間との連携を図り医療安全管理活動に取り組む。</p>
<p>■開催予定</p>	<p>6回</p>
<p>■活動事業</p>	<p>1. 医療安全の推進と啓発</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 病院、クリニック、介護施設への医療安全推進の支援</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 医療安全関連研修の支援(出前講座)</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) 医療安全活動に関する相談窓口の確立</p> <p>2. 研修会評価の見える化</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 本部と全支部で共有したアンケートを使用し、医療安全の研修に参加された状況の把握をする。</p> <p style="margin-left: 20px;">2) 医療安全研修参加の結果をホームページに掲載し情報共有を図る。</p>



## 令和3年度 ナースセンター運営委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. ナースセンター事業の活動を支援し、効果的な広報を行う。</p> <p>2. 看護職員需要・離職に関して調査を行う。</p>									
<p>■開催予定</p>	<p>6回</p>									
<p>■活動事業</p>	<p>1. 兵庫県ナースセンター事業の活動推進を支援する。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 委員会において、ナースセンターの事業報告を受け検討し、必要に応じて改善策など提案する。</p> <p style="margin-left: 20px;">2) ナースセンター事業の運営・広報に関して必要な事項を検討する。</p> <p>2. 県内の病院・訪問看護ステーション・介護施設・介護医療院に向けて「令和2年度看護職の需給・離職調査」を行い、看護職の需給状況を把握し課題を見出す。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 「令和2年度看護職員需要・離職調査」を実施する。</p> <p style="margin-left: 20px;">2) 「令和2年度看護職員需要・離職調査」結果をもとに検討する。</p> <p style="margin-left: 40px;">実施計画</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">令和3年</td> <td style="width: 15%;">3月末</td> <td>調査用紙発送予定</td> </tr> <tr> <td>5月～</td> <td>集計</td> </tr> <tr> <td>7月～</td> <td>分析・報告書作成</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>報告書完成</td> </tr> </table>	令和3年	3月末	調査用紙発送予定	5月～	集計	7月～	分析・報告書作成	11月	報告書完成
令和3年	3月末		調査用紙発送予定							
	5月～		集計							
	7月～		分析・報告書作成							
	11月	報告書完成								

## 令和3年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。</p> <p>2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。</p>
<p>■開催予定</p>	<p>6回</p>
<p>■活動事業</p>	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。</p> <p>1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し、問題点を明らかにして改善方法を検討する。</p> <p>2) ヘルシーワークプレイスを推進する研修会を実施する。          テーマ：未定          時期：令和4年1～2月頃          対象者：看護管理者及びテーマに興味のある看護職等          講師：未定</p> <p>3) 勤務環境改善に取り組む施設の支援を行う。          看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業であるインデックス調査の費用を助成し支援を継続することで、WLB 取り組み施設の勤務環境改善の推進と実現を支援する。          対象：平成29年度以降のWLB 取り組み7施設          (栄宏会土井病院、宝塚市立病院、市立伊丹病院、IHI 播磨病院、神戸徳洲会病院、川崎病院、東宝塚さとう病院)</p> <p>4) 関係機関と連携を図る。          兵庫県看護協会ナースセンター、各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県健康福祉部健康局医務課、兵庫県労働局雇用・環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、ヘルシーワークプレイスの推進に向けて活動を実施する。</p> <p>5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動を行う。          ヘルシーワークプレイスに関連する資料、リーフレットを配布する。</p> <p>6) コロナ禍における看護管理者のための情報交換会を実施する。          テーマ：未定          時期：未定          対象者：看護管理者          講師：未定</p> <p>2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。</p>

## 令和3年度 災害・健康危機対策委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における連携支援体制の構築及び、災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発</li> <li>2. 健康危機関連規程集の見直しと充実化を図る</li> <li>3. 災害支援ナースの登録推進・育成研修</li> <li>4. 地域の防災訓練への参加。地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み</li> <li>5. 新型インフルエンザ等感染症の研鑽として、新型コロナウイルス感染症に関する研修会の開催</li> </ol>
<p>■開催予定</p>	<p>6回</p> <p>*委員会の他、災害支援ナース養成研修や新型インフルエンザ等研修会の企画・運営、防災訓練等への参加</p>
<p>■活動事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会において、実効性のある効果的な地域連携方策、研修企画等について協議する。</li> <li>2. 健康危機規程集の見直しと充実化を図る 委員会において検討した、受援マニュアル策定ガイドの周知と、追記および新型コロナウイルス感染症に関する対策等を含めた内容を検討する。</li> <li>3. 災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 実働可能な災害支援ナースの登録増加を図る。フォローアップ研修、交流会を通じて、活動へのモチベーションの維持を図る。</li> <li>4. 受援・支援活動の強化推進を目的として、体制整備の推進、研修企画、啓発活動を実施するとともに災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図る。</li> <li>5. 看護協会ホームページ等への災害看護や防災についての情報提供 実際の災害支援活動や災害訓練について看護協会のホームページを効果的に活用し、積極的に周知する。</li> <li>6. 地区の防災訓練、災害対策会議等への参加 地区で開催される防災訓練、災害対策会議等に参加し、地域の状況に応じた連携支援体制の構築に取り組む。</li> <li>7. 新型インフルエンザ等感染症研修会の企画、運営 新型インフルエンザ等の感染症研修会を開催し、感染症に関しても各施設で適切な対策が講じられるよう働きかける。</li> </ol>

## 令和3年度 まちの保健室委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。</li> <li>2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。</li> <li>3. 社会状況に応じた、新たな健康相談等の方法を模索し、活動につなげる。</li> </ol>
<p>■開催予定</p>	<p>9回</p>
<p>■活動事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 県民の「健康」と「安心」につながる活動を継続するため、地域住民が社会資源としてまちの保健室を活用できるよう働きかける。</li> <li>2) ボランティアの資質とモチベーション向上を目的に、研修会の開催および支部間のボランティア交流を図る。</li> <li>3) 健康相談にとどまらず、疾病予防と健康づくりに取り組むための活動体制を推進する。</li> </ol> </li> <li>2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 様々な不安や悩みを気軽に相談できる場を広く提供できるよう、各拠点活動を充実し、地域住民の健康増進につなげる。</li> <li>2) 地域住民と協働し、住民自ら健康と予防につながる活動が行えるための支援を強化する。</li> <li>3) 健康長寿の最大の阻害要因となる生活習慣病対策として、栄養・食育、乳がん自己検診推進等女性の健康に関すること、たばこ対策受動喫煙防止に関する指導を強化する。</li> <li>4) 子育て世代の不安に関することや育児について気軽に相談ができる場の提供と、妊娠、出産、子育てが安心してできるよう支援する。</li> <li>5) 平時からの住民等の防災意識の高揚のため、「まちの保健室」活動を通して地域での体制づくり・危機意識と防災意識の向上を図る。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 備えについてのチラシ活用</li> <li>(2) 時期に応じた備えについての情報提供</li> </ol> </li> <li>6) 市町の事業や他団体等との連携・協働を強化し、「まちの保健室」活動の拡充を図る。</li> <li>7) 新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮したうえで、新たな健康相談等の方法を見出し、実践したうえで評価する。</li> </ol> </li> </ol>

## 令和3年度 地域ケア・地域看護推進委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. 地域包括ケアシステム推進における看看連携のネットワークを明らかにし、専門性の発揮と看看連携の強化を図る。</p>
<p>■開催予定</p>	<p>8回</p>
<p>■活動事業</p>	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける看護職と、看看連携の課題の把握、対応策の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各支部にある看看連携のネットワークを収集し整理する。</li> <li>2) 支部で収集したネットワークの一覧表を作成し、可視化する。</li> <li>3) 地域へ看看連携のネットワークを周知する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実践報告等の開催 令和4年2月 対象：県内の管理職等</li> <li>(2) 事例集作成</li> </ol> </li> </ol> <p>2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。</p>

## 令和3年度 広報委員会 活動計画

<p>■活動目標</p>	<p>1. 公益法人として協会活動に幅広い理解を得るとともに、適宜適切な情報を提供するなど会員サービスの一層の向上を図り、また、令和3年度協会重点方策である組織力の強化を推進するため、効果的な広報を実施する。</p> <p>2. 新規入職者に看護職能団体としての看護協会の目的、理念、活動の理解を深めるとともに、キャリア支援、離職防止支援につなぐため、オンライン研修システムを活用した新入会員研修を開催する。</p> <p>3. 会員等からの意見を聴取し、広報活動に活かしていく。</p>
<p>■開催予定</p>	<p>7回</p>
<p>■活動事業</p>	<p>1. 公益法人として協会活動に幅広い理解を得るとともに、適宜適切な情報を提供するなど会員サービスの一層の向上を図り、令和3年度協会重点方策である組織力の強化を推進するため、効果的な広報を実施する。</p> <p>1) 会員向けの「協会ガイド」と「看護ひょうご」、県民向けの「ささえ」の発行</p> <p>2) ホームページを活用し、各事業や最新情報の発信に努める。</p> <p>3) 「ナース川柳“ひょうご”」を積極的に活用する。</p> <p>2. 新規入職者に看護職能団体としての看護協会の目的、理念、活動の理解を深めるとともに、キャリア支援、離職防止支援につなぐため新入会員研修を開催する。</p> <p>1) オンライン研修システムを活用した研修にリニューアルする。 各会員施設において、オンラインによる研修の受講を進めていただく。</p> <p>2) 新たに導入するオンライン研修システムを活用することで、看護協会研修システムの理解を深め、働き続ける上で必要な継続教育のモチベーション向上を図る。</p> <p>3) 看護職能団体としての看護協会の目的や理念、活動の理解を深め、協会活動への積極的な参加意欲の向上を図る。</p> <p><b>【新入職者研修】</b>          時期：令和3年5月下旬（予定）          方法：オンライン研修システムの活用          内容（案） ①看護協会の概要                    ②県民の元気につながる “看護の力”                    ③生涯にわたり働き続けられるためには                    ④看護協会施設紹介（研修室、図書室、ナースセンター等）</p> <p><b>【入職2年目研修】</b>          時期：令和3年6月中旬（予定）          方法：オンライン研修システムの活用          内容（案） ①看護協会の概要                    ②1年間のがんばりを共有しよう！                    ③生涯にわたり働き続けられるためには                    ④看護協会施設紹介（研修室、図書室、ナースセンター等）</p> <p>3. 会員等からの意見を聴取し、広報活動に活かしていく。</p> <p>1) ホームページ、SNS等を活用して、会員の意見を聴取する。</p> <p>2) 会議や研修会等様々な機会を通じ、協会（活動）に対する意見の聴取に努める。</p>

### 令和3年度 支部活動計画

阪神南支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>*その他の活動（機関紙発行等の活動）</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会 ※7月・2月に開催予定	年10回 年2回	① 休日版パパのためのマタニティーセミナー 年2回 ② さくらFM 年4回 (テーマ 6月：フレイル予防、9月：認知症 12月：インフルエンザ 3月：褥瘡)
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療看護安全委員会 ④ 健康危機対策委員会	年9回 年11回 年7回 年7回	<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b> ① 阪神南圏域健康福祉推進協議会 ② 健康ひょうご21県民運動推進委員 ③ 西宮地域保健推進協議会 ④ 西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供 ⑤ 社会福祉法人西宮市社会福祉事業団 評議員会 ⑥ 西宮市民健康づくり活動推進協議会 ⑦ 阪神南圏域地域医療構想調整会議 ⑧ 阪神南圏域(西宮市・芦屋市)リハビリテーション支援センター連絡協議会 ⑨ 尼崎市地域災害救急医療対策会議 ⑩ 阪神医療福祉ネットワーク協議会 理事会 ⑪ 県立西宮病院懇話会 ⑫ 尼崎市地域保健問題審議会
3. 教育	① 研修会 ※6月・9月・11月に開催予定	年3回	
4. 地域看護活動	① 看護の日(看護フェスタ) ② 芦屋健康福祉フェア ③ 西宮市民看護フェア ④ 看護協会ナースセンター・ハローワーク共同事業合同就職説明会in阪神南	1回 未定 未定 未定	
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点における	拠点数	6箇所
		健康相談活動回数	39回
		子育て支援活動回数	10回
		(まちの子育てひろばを含む)	
		活動ボランティア数	47名
	出前隊	出前隊件数	3件
		活動ボランティア数	17名
			<b>IV その他報告内容</b> ① 地域別看護職員ネットワークづくり事業 9月：研修会・交流会、10月：施設見学会

阪神北支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>II まちの保健室事業</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会	年7回 年2回	拠点数 26箇所
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療看護安全委員会 ※交流会2回含む	年5回 年5回 年6回	健康相談活動回数 — 子育て支援活動回数 — 活動ボランティア数 —
3. 教育	① 研修会 ② 看護実践報告会	年3回 年1回	出前隊 出前隊件数 — 活動ボランティア数 —
4. 地域看護活動	① 看護の日 ② 看護フェア	未定 未定	

神戸東部支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会	年7回 年2回	① 神戸圏域地域構想調整会議：地域包括ケア推進部会 ② 神戸市地域医療推進協議会 ③ 神戸マラソンメディカル協議会 ④ 神戸圏域地域構想調整会議 ⑤ 地域医療構想懇話会
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療安全委員会 ④ 地域連携窓口委員会	年6回 年8回 年6回 年9回	
3. 教育	① 研修会	年3回	
4. 地域看護活動	① 看護の日 神戸3支部合同 ② 看護フェア 神戸3支部合同	1回 1回	
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点における	拠点数	3箇所
		健康相談活動回数	—
		子育て支援活動回数	—
		(まちの子育てひろばを含む)	
		活動ボランティア数	—
	出前隊	出前隊件数	—
		活動ボランティア数	12名

### 令和3年度 支部活動計画

#### 神戸中部支部

神戸中部支部				
<b>I 支部事業</b>				<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議	年8回	① 兵庫区医療介護連携推進協議会	② 兵庫区医療介護連携推進協議会・兵庫区消防署連絡会議 ③ 兵庫区区民健康のつどい準備委員会 ④ 神戸回復期リハビリ看護連携会議 ⑤ 神戸マラソンメディカル協議会
	② 支部会員会	年2回		
2. 委員会	① 教育委員会	年7回		
	② まちの保健室委員会	年9回		
	③ 医療安全委員会	年8回		
	④ 災害対策委員会	年8回		
3. 教育	① 研修会 3支部合同	年3回		
4. 地域看護活動	① 看護の日 神戸3支部合同	1回	<b>IV その他報告内容</b> 地域別看護職員ネットワーク作り事業	
	② 看護フェア 神戸3支部合同	1回		
	③ 兵庫区健康のつどい	未定		
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点における 出前隊	拠点数	11箇所	
		健康相談活動回数	未定	
		子育て支援活動回数	未定	
		活動ボランティア数	130名	
		出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	30名		

#### 神戸西部支部

神戸西部支部				
<b>I 支部事業</b>				<b>*その他の活動（機関紙発行等の活動）</b> 「まちの保健室」ボランティア研修会 年1回
1. 支部運営会議	① 支部運営会議	年11回	<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b> ① 神戸マラソンメディカル協議会	
	② 支部会員会	年2回		
2. 委員会	① 教育委員会	年9回		
	② まちの保健室委員会	年10回		
	③ 地域連携窓口委員会	年11回		
3. 教育	① 研修会	年2回		
	② 支部独自研修	年2回		
	③ 支部会員会主催 研修会	年2回		
4. 地域看護活動	① 看護の日 神戸3支部合同	1回		
	② 看護フェア 神戸3支部合同	1回		
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点における 出前隊	拠点数	12箇所	
		健康相談活動回数	—	
		子育て支援活動回数	—	
		活動ボランティア数	約300名	
		出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	約50名		

#### 東播支部

東播支部				
<b>I 支部事業</b>				<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議	年8回	① 加古川市介護保険運営協議会 ② 淡路圏域健康福祉推進協議会 ③ 淡路精神保健福祉協議会 ④ 加古川市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 ⑤ ころ豊かな美しい東播磨推進会議 ⑥ 東播磨災害時地域医療対策会議 ⑦ 1市2町在宅医療・介護連携推進会議 ⑧ 明石医療センター附属看護専門学校戴帽式 ⑨ 医療・介護連携推進会議 ⑩ 新型インフルエンザ対策訓練 ⑪ 東播磨圏域健康福祉推進協議会健康づくり部会 ⑫ 東播磨圏域健康福祉推進協議会健康づくり医療部会 ⑬ 看護学校等卒業式	
	② 支部会員会	年2回		
2. 委員会	① 教育委員会	年8回		
	② まちの保健室委員会	年8回		
	③ 医療安全委員会	年8回		
	④ 災害安全委員会	年8回		
3. 教育	① 研修会	年3回		
4. 地域看護活動	① 看護の日	未定		
	② 看護フェア	未定		
	③ その他 高校文化祭、コミュニティセンター、青年クラブ、自治会、町のサロン、街づくり協議会、スポーツ振興会、明石総合支援センター、稲美町総合支援センターなどで開催			
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点における 出前隊	拠点数	14箇所	
		健康相談活動回数	20回	
		子育て支援活動回数	10回	
		出前隊件数	10件	
		活動ボランティア数	150名	
			<b>IV その他報告内容</b> 地域別看護職員ネットワーク事業参加予定	



## 令和3年度 支部活動計画

北播支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会	年10回 年2回	<b>IV その他報告内容</b> ①施設代表者会議 年1回 ②北播磨地域看護合同就職説明会 年2回
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療安全委員会 ④ 健康危機対策委員会	年12回 年12回 年6回 年12回	
3. 教育	① 研修会 ② 看護実践報告会 ③ リスクマネジャー交流会 ④ 災害支援ナース交流会	年5回 未定 年2回 年1回	
4. 地域看護活動	① 看護の日 ② 看護フェア	調整中 調整中	
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点数 健康相談活動回数 子育て支援活動回数 活動ボランティア数 出前隊件数 活動ボランティア数	6箇所 — — — — —	

西播支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会	年10回 年3回	<b>IV その他報告内容</b> ①看護職合同就職説明会・合同進学説明会in西播 ②兵庫県看護協会・ネットワーク事業 ③事例検討会(年6回) ④学会発表(2演題) 日本災害看護学会
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療安全委員会 ④ 健康危機管理委員会 ⑤ 地域連携委員会	年9回 年8回 年6回 年8回 年9回	
3. 教育	① 研修会 ② 看護実践報告会 ③ 交流会	年6回 年1回 年4回	
4. 地域看護活動	① 看護の日	1回	
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点数 健康相談活動回数 子育て支援活動回数 (まちの子育てひろばを含む) 活動ボランティア数 出前隊件数 活動ボランティア数	18箇所 168回 29回 370名 36件 160名	

但馬支部			
<b>I 支部事業</b>			<b>III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項</b>
1. 支部運営会議	① 支部運営会議 ② 支部委員会	年8回 年2回	<b>IV その他報告内容</b> ①但馬圏域健康福祉推進協議会 ②但馬長寿の郷づくり協議会 ③但馬地区訪問看護ステーション連絡協議会
2. 委員会	① 教育委員会 ② まちの保健室委員会 ③ 医療安全委員会 ④ 地域連携委員会(健康危機)	年11回 年12回 年7回 年4回	
3. 教育	① 研修会 ② 看護実践報告会	年5回 年1回	
4. 地域看護活動	① 看護の日 *5月各施設でポスター掲示のみ ② 看護フェア	中止	
<b>II まちの保健室事業</b>	拠点数 健康相談活動回数 子育て支援活動回数 活動ボランティア数 出前隊件数 活動ボランティア数	15箇所 28回 37回 130名 9件 48名	

## 令和3年度 支部研修計画

支部	No.	研修名	定員
阪神南	700	皮膚障害の予防とケア	26
	701	摂食嚥下障害へのアプローチと口腔ケア	26
	702	病院と地域の連携	26
阪神北	710	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	30
	711	災害看護の基礎を学ぶー小さなことからコツコツとー	30
	712	倫理研修 多職種で支えるエンドオブライフケア ー医療/福祉連携の実践ー	40
	713	看護実践報告会	130
神戸東部	720	事例を通して学ぶ高次脳機能障害の看護	28
	721	看取りのケアとエンゼルメイク	25
	722	医療安全「チームステップス」	調整中
神戸中部	730	人材育成、人材定着に関する研修	調整中
	731	医療安全研修	調整中
	732	災害研修	100
神戸西部	740	呼吸ケアを極める!!	20
	741	患者急変の予兆に気づき、防ぐ	20
東播	750	4DAS (Four-Dimensional Assessment System) を用いた認知症ケアとは?	調整中
	751	認知症の人との適切なかかわり方 ー認知症とせん妄の見分けるポイントー	調整中
	752	災害支援における知識を現場に活かす	調整中
北播	760	看護研究を基礎から学ぼう①	30
	761	看護研究を基礎から学ぼう②	30
	762	アクションカードを作ろう!アクションカードの意義と作成方法	30
	763	暴言・暴力・ハラスメント対策	調整中
	764	看護職のメンタルケア①	30
西播	770	フィジカルアセスメント (基礎編)	60
	771	医療安全における再発防止 ー有効な対策ってどういうこと?	80
	772	慢性心不全患者の看護	60
	773	摂食嚥下アセスメント	60
但馬	780	これならできる!認知症の人とのコミュニケーション ー病院、施設で活用できる認知症看護ー	40
	781	倫理と医療安全	40
	782	フットケア	40
	783	看護実践報告会	100

# 令和3年度 教育認定部 事業計画

令和3年度は2025年を見据えて、さらに地域包括ケアシステムを強化するために、あらゆる場で働く看護職の看護実践能力、キャリアアップを支援するとともに、看護の質向上、役割拡大を目指す。今年度より、新オンライン研修システムを導入し、会場とWeb併用での開催ができ、より多くの会員が受講しやすいような研修を企画した。

## 1. 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成

ますます進む少子高齢化社会のニーズに対応できる看護の機能・能力向上、役割拡大を支援するために、個々のキャリアに応じた継続教育を基本とする研修を実施する。今年度は研修を7つに分類し、そのうち5分類は日本看護協会に準じた研修とした。中でも分類2は「看護師のクリニカルリーダー（JNAリーダー）」に基づき、研修受講者が目指すレベルを提示し、看護実践能力の核となる必要な4つの力と5つの習熟段階をバランスよく強化できるよう支援する内容とした。現場のニーズに応じ、基本的な病態生理の理解および看護を学び実践につなげられる研修を企画した。

## 2. 2025年の医療・介護ニーズに対応する看護職の役割拡大

地域包括ケアを担うあらゆる場で働く看護職の看護実践能力向上、専門性の高い看護職の人材育成は喫緊の課題である。看護職の役割拡大、専門性を強化し地域の医療・看護・介護を支えていく看護師の人材育成強化のために、2021年から認知症看護認定看護師教育課程に特定行為研修を組み込んでいる教育課程（B課程）を開講し、看護職の専門性と役割拡大を担う人材育成を実施する。

## 3. 地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

高齢者・妊産婦・乳幼児など全世代を対象とした地域包括ケアシステムの充実にむけ、在宅療養支援に向けた退院支援、外来看護に関する研修を実施する。また、地域包括ケアを推進・強化するためには更に多職種連携が重要である。これを進めていく上で要となるのは看護管理者である。認定看護管理者教育課程の開催、看護管理者を対象とした研修を実施し、看護管理者の育成を支援する。

## 4. あらゆる場で働く看護職の実践能力の向上と、リソースナースの活用

病院だけでなく、介護施設、訪問看護ステーション、診療所等あらゆる場で働く看護職の実践能力の向上、看護の質向上を目指し、県内のリソースナースの活用を推進する。

Hyogoリソースナースネットワークの登録システムをさらに整備し、登録者を増やし、リソースナースを活用できる体制を強化する。訪問看護ステーション、介護施設等への周知をはかり、あらゆる場で働く看護職の看護実践能力の向上を支援する。

(教育研修計画については、令和3年度教育研修一覧 参照)

## 令和3年度 教育認定部 研修計画

### 【教育理念】

兵庫県看護協会は、保健・医療・福祉のニーズの多様化、複雑化に柔軟に対応し、質の高い看護を提供できるよう看護職のキャリア開発を支援するとともに地域に貢献できる人材を育成する。

### 【教育目的】

1. 社会が求める質の高いヘルスケアサービスの提供ができる看護職の育成
2. 地域包括ケアシステムが推進できる看護職の育成

### 【教育目標】

1. いつでも、どこでも、だれにでも必要な看護が実践できる看護職を育成する。
2. 倫理綱領に基づいて、ケアの受け手の尊厳と多様性を尊重した看護ができる看護職を育成する。
3. 生活と、保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護ができる看護職を育成する。
4. 専門職業人として自己研鑽し、自らキャリア開発することのできる看護職を育成する。
5. 地域包括ケアシステムにおいてリーダーシップを発揮し、コーディネートができる看護職を育成する。
6. 社会の変化や現状に即した組織マネジメントにとどまらず、政策提言できる看護管理者を育成する。

### 【研修計画の組み立て】

研修分類（分類1～5は日本看護協会の研修分類に準じた）		
1	「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1)社会ニーズに対応する能力支援のための研修
		2)診療報酬に関連した研修
		3)復職支援・離職防止のための研修
		4)研究会・講演会
2	ラダーと連動した継続教育 *ラダーは「目指すレベル」を表示	1)看護師のクリニカルラダー(JNA ラダー)
		2)助産師実践能力習熟段階(CLoCMiP)
3	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1)看護管理者を対象とした研修
		2)これから看護管理を担う人々を対象とした研修
4	専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1)JNA ラダー活用のための研修
		2)施設内の教育体制の充実に向けた研修
		3)教員・実習指導者を対象とした研修
5	資格認定教育	1)認定看護管理者教育課程
		2)認知症看護認定看護師教育課程(B課程)
6	委員会研修	
7	支部研修	

※オンライン研修を導入:オンライン上での学習でも、学習効果に大きな影響がないと考えられる研修については、オンライン併用開催を計画している。

※1-3)は全てナースセンター担当研修

令和3年度 教育研修計画

研修名	ｸﾞﾗｰ	日数	定員	研修名	ｸﾞﾗｰ	日数	定員	
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育				ラダーと連動した継続教育				
<b>1. 社会ニーズに対応する能力支援のための研修</b>				<b>1. 看護師のクリニカルラダー（JNAラダー）</b>				
病棟ナースが知っておきたい在宅療養の実際		1	60	みんなで学ぼう！糖尿病患者のフットケア	Ⅲ	1	50	
スタッフナースが取り組む退院支援		1.5	60	最新！がん化学療法—求められる看護師の役割—	Ⅲ	1	60	
退院支援実務者研修		4	60	地域と病院をつなぐ外来看護	Ⅲ	1	60	
知っている	1)認知症の病態と治療	1	60	—在宅療養支援における外来看護師の役割—				
おきた	2)老年看護の基礎的知識	1	60	在宅療養支援における外来看護管理者の役割	Ⅳ	1	60	
	3)アセスメントの視点	1	40	<b>2. 助産実践能力習熟段階（CLoCMIP）</b>				
	4)アセスメントに基づくケア	1	40	新人助産師	1)産褥期の看護	新人	1	40
認知症	5)コミュニケーションと生活療養環境づくり	1	40	集合研修	2)新生児の看護	新人	1	40
	1)健康障害を予防する感染管理	0.5	60		3)妊娠期の看護	新人	1	40
高齢者の暮らしを支えるケア	2)健康障害を予防する認知症ケア	0.5	60		4)分娩期の看護	新人	1	40
	3)健康障害を予防する摂食嚥下障害ケア	0.5	60	指導に活かそう！妊娠から授乳期における栄養と知識	Ⅲ	0.5	40	
	4)健康障害を予防するスキンケア	0.5	60	胎児モニタリングと分娩管理	Ⅲ	0.5	40	
人生の最終段階の意思決定支援—最善の医療とケアのために—①		1	60	妊娠前から産褥期の異常時の対応(主に出血に対して)	Ⅲ	0.5	40	
人生の最終段階の意思決定支援—最善の医療とケアのために—②		1	60	助産記録	Ⅲ	0.5	40	
ELNEC-J高齢者カリキュラム看護師教育プログラム		2	42	臨床推論	Ⅲ	0.5	40	
新たな国民病「慢性腎臓病（CKD）」の重症化を予防する！		1	60	周産期に関する倫理（CLoCMIP®Ⅲ申請対象研修）	Ⅲ	0.5	40	
おさえておきたい！透析看護のポイント		1	60	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育				
災害が発生したらどう対応しますか？—被災病院における初動対応—		1	60	<b>1. 看護管理者を対象とした研修</b>				
今日から使えるアンガーマネジメント		1	60	主任のための役割講座		2	60	
—イライラ、怒りの感情と上手に付き合う方法—				師長のための役割講座		2	60	
再発見！わたしの職業人生		0.5	30	論文の書き方①—論理的思考・記述力アップ—		1	80	
—キャリアヒストリー法を通して振り返り、見通す—				論文の書き方②—論理的思考・記述力アップ—		1	80	
看護研究はじめの一步		1	60	論文の書き方③—論理的思考・記述力アップ—		1	80	
臨床における看護研究と支援のポイント		2	40	論文の書き方④—論理的思考・記述力アップ—		1	80	
—研究の過程を楽しめることを目指そう—				論文の書き方⑤—論理的思考・記述力アップ—		1	80	
新生児蘇生法（NCP）Sコース（兵庫医科大学病院共催研修）		0.5	24	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①【JNA収録DVD研修】		1	60	
妊産褥婦が取り組む母乳育児		0.5	40	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②【JNA収録DVD研修】		1	60	
助産師のための超音波診断スキル		0.5	20	ファーストレベル公開講座①		1	30	
周産期における感染予防対策 —COVID-19 感染症を踏まえて—		1	40	ファーストレベル公開講座②		1	30	
「産後ケア事業」における助産師に必要な小児看護の知識と技術		0.5	40	セカンドレベル公開講座①		1	30	
准看護師のための看護過程と急変対応		1	30	セカンドレベル公開講座②		1	30	
介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会①		1.5	40	専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育				
介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会②		1.5	40	<b>1. JNAラダー活用のための研修</b>				
<b>2. 診療報酬に対応した研修</b>				JNAラダーを自分のキャリア開発に活かすために				
糖尿病重症化予防（フットケア）研修		3	50	<b>2. 施設内の教育体制の充実にに向けた研修</b>				
医療対話推進者養成研修		3	60	新人看護職員	実地指導者研修①	4	50	
認知症高齢者に看護実践に必要な知識①【JNA収録DVD研修】		2	60		実地指導者研修②	4	50	
認知症高齢者に看護実践に必要な知識②【JNA収録DVD研修】		2	60	卒後臨床研修事業	教育担当者研修	5	50	
看護職員認知症対応力向上研修①		3	60		研修責任者研修	1	50	
看護職員認知症対応力向上研修②		3	60	管理者として生涯キャリアを見通しスタッフのキャリア形成を促す		1	30	
<b>3. 復職支援・離職防止のための研修・・・他部署担当</b>				—キャリアヒストリー法の活用—				
<b>4. 研究会・講演会</b>				<b>3. 教員・実習指導者を対象とした研修</b>				
看護実践研究会		1	150	保健師助産師看護師実習指導者講習会<一般分野>	0	30	60	
特定行為にかかる研修修了者の実践報告		1	調整中	保健師助産師看護師実習指導者講習会<特定分野>	0	8	20	
CNS/CN/認定看護管理者実践報告会		1	調整中	兵庫県看護学校協議会共催研修（1・2）	0.5		調整中	
ラダーと連動した継続教育				資格認定教育				
<b>1. 看護師のクリニカルラダー（JNAラダー）</b>				<b>1. 認定看護管理者教育課程</b>				
新人看護職員	1)フィジカルアセスメント（呼吸・循環）	I	1	60	ファーストレベルⅠ期（週末コース）	105H	60	
集合研修	2)看護倫理	I	1	60	ファーストレベルⅡ期	105H	60	
	3)救命救急処置技術	I	1	60	ファーストレベルⅢ期	105H	60	
	4)高齢者へのケア	I	1	60	ファーストレベルⅣ期	105H	60	
看護だからできる摂食嚥下ケア		Ⅱ	1	60	セカンドレベル	180H	60	
楽しく学ぼう循環器！—心不全患者の理解と看護—		Ⅱ	1	60	令和2年度ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修	1	60	
人工呼吸器の基礎知識と装着中の看護		Ⅱ	1	60	令和2年度ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修	1	60	
—基本を熟知し、観察ポイントを外さない！—					令和3年度ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修	1	60	
ケアの質を高める看護倫理—患者・家族の意思決定を支える—		Ⅲ	1	60	令和3年度ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修	1	60	
今日から役立つせん妄ケア—高齢入院患者のせん妄を防ぐ—		Ⅲ	1	60	看護管理実践発表会	1	150	
フレイルから摂食嚥下障害へ進むかは入院中の関りで変わる！		Ⅲ	1	40	<b>2. 認定看護師教育課程</b>			
重症化・急変予測に必要なスキル—臨床判断力を磨こう—		Ⅲ	1	60	特定行為研修を組み込んでいる認知症看護認定看護師教育課程(B課程)	808H	20	

※ 一部 オンライン併用

# 令和3年度 地域ケア事業部 事業計画

## I 組織の運営に関する事項

- 1 兵庫県看護協会立訪問看護ステーション3事業所の統括、及び健全運営支援
  - 1) 協会立居宅サービス事業所所長及び管理者会の定期開催による、情報の共有及び課題整理と対策の検討  
開催回数:概ね月1回(年間10回)、参加数:5~7名/1回、開催場所:尼崎事業所、Web会議等
  - 2) 訪問看護師OJTガイドブック活用し個人評価チェックの継続
  - 3) 尼崎市認知症初期集中支援推進業務(認知症初期集中支援チーム業務)の受託及び運営
  - 4) メンタルヘルス対策事業の継続
  - 5) 兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業(教育ステーション)の申請
  - 6) 機能強化型訪問看護ステーション(尼崎)の地域等への貢献活動(まちの保健室開催、他事業所支援等)
- 2 兵庫県看護協会主催の事業(地域ケア推進委員会、看護の日、看護フェア等)への参加

## II 人材育成及び臨地実習生の受け入れ

- 1 訪問看護人材育成事業(基金事業)の支援
  - 1) 在宅看護連携強化事業
    - (1) 「看-看連携研修」研修生の受け入れ
    - (2) 訪問看護推進会議への参画(新卒訪問看護師育成プログラムの見直し及び指導者ガイドの作成等)
  - 2) 研修事業(訪問看護導入研修、機能強化型訪問看護ステーション交流会等)
- 2 多様化する在宅ケアに対応できる人材の確保と人材育成の強化(地域ケア事業部職員)
  - 1) 新卒訪問看護師の継続育成(2年目)
  - 2) 職員に対する職場研修・派遣研修及び自己研鑽研修支援の継続
  - 3) 他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣
  - 4) 介護職員への喀痰吸引等(第三号研修)の現地研修
- 3 実習生の受入(各事業所で実施)  
認定看護師教育課程受講生・看護学生・医学部生・衛生看護科生等の臨地実習生等

## III 訪問看護支援事業の継続

衛生材料の共同購入事業を、業者との連携により継続する。

## IV 関連機関、関係団体との連携および会議出席

会議名	回数	開催場所	内容
兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会総会・理事会・幹事会	年 12回	兵庫県看護協会会館	・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の活動・予算決算・情報提供等
近畿地区看護協会立訪問看護 ステーション統括者・管理者交流会	年1回	兵庫県看護協会会館	・近畿地区看護協会立訪問看護ステーションの情報交換及び意見交換

## V 行政(尼崎市)の審査会議等への出席

1. 保健所運営協議会
2. 介護認定審査会
3. 尼崎市地域包括支援センター運営部会
4. 尼崎総合医療センター運営懇話会

## VI 事業目標

令和3年4月1日～令和4年3月31日

### 1. 訪問看護事業

			尼崎		出石		神戸
介護 保険	年間訪問 延件数	訪問看護 (リハ60分1件)	8,400		3,400		3,300
医療 保険	年間訪問 延件数	訪問看護	9,900		2,500		1,800
訪問 担当 職員	職種		N s .	PT	N s .	PT	N s .
	正規職員数		13	1	4	0	5
	非正規職員数		10	1	3	1	2
	常勤換算数		19.9	1.8	6.7	1	6.8

### 2. 居宅介護支援事業

		尼崎	神戸
介護度		計画策定延件数	計画策定延件数
要支援		252(504)	140(280)
要介護		1,488	576
計		1,740	716
担当職員1人当たり件数 (要支援=0.5件)		32.2/月	29.8/月
担当職員	常勤者数	6	2
	非常勤者数	0	0
	常勤換算数	6	2

### 3. 訪問介護事業 (尼崎)

障害福祉	年間訪問延件数	居宅介護	980
		重度訪問介護	2,950
介護保険	年間訪問延件数	専門型訪問介護	100
		訪問介護	3,900
担当職員	常勤者数	2	
	非常勤者数	7	
	常勤換算数	6.23	

